

おのじちしんこうかい

小野

自治振興会

農業小学校を通じた地域活性化



この農業小学校は播種と収穫だけとか、収穫体験だけとかのいわゆる「Welcome 中抜き農業体験型」ではなく、種まき草取り収穫という農業のプロセスを学習してもらうタイプであるとここに特色があります。

都市部在住の子ども達と地元在住の子ども達(その保護者

等を含む)に生徒として入学してもらい、生徒同士は無論のこと学校の講師となる地元住民との間で、農業実習や食育実習、あるいは座学を通じて交流を図る

ことによりお互いに理解し合える(人と人は無論のこと真の農業をも理解し合える)人的ネットワークを構築し、もって地域の活性化を図ると同時に持続可能な地域の創生を目指します。

これを6年~10年長期継続すれば、将来必ずやこれらの生徒の中から、或いは彼ら(彼女ら)に関係する人脈の中から、更には

地域出身者の中から小野(広くは神石高原町)に係わる(居住者や就農者を含む)人物、はたまた国の中山間地域施策や農業施策に携わる人物が出現し、彼らによってその目的が達成されるものと期待と確信もって取り組んでいます。

ホームページの活用

小野自治振興会では、小野出身者を対象に小野応援団化を推進するため月刊広報誌「小野自治振興会だより」がインターネット上で閲覧可能にするとともに、リアルタイムで小野の情報が全国に発信できるよう小野自



治振興会ホームページを公開(神石高原町の公式ホームページからもリンクしている。)しています。



神石高原町の中でも高齢化率が比較的高く人口も少ない割には、団塊世代の定年帰農も順調に推移し元気を自負している小野自治振興会ですが、やはり20年後を考えると不安があり、試行錯誤のなかで人的交流を通じて持続可能な集落づくり(活性化)を図ることを指向することとしました。

その手段として、小野在住の豊富な人材(気が付けば小野には医者がないだけ)を利用して農業小学校を立ち上げることを決意しました。

住民自治組織データ

- 〔自治振興会名〕 小野自治振興会 (会長：赤木照章)
- 〔世帯数・人口〕 77戸・171人
- 〔人口構成〕 15歳以下5.9%、16~64歳33.9%、65歳以上60.2%
- 〔班構成〕 9班(正原, 中央, 中郷, 隠殿, 後谷, 高田, 南郷, 松尾, 今井)
- 〔組織構成〕 総務部, 福祉部, 地域振興部, 生涯学習部
- 〔役員構成〕 会長1人, 副会長1人, 班長9人, 部会長4人, 事務局2人